

富士山SDGsガイドブック



©富士宮市さくやちゃん

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

富士宮市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



SDGsってなんだろう!?



Sustainable Development Goals

の頭文字を取ったもので、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されます。

「誰一人取り残さない」を基本理念に、2015年9月に世界193か国のみんなで考えた、2030年までに達成を目指す17の国際目標です。

5つのP

People(人間)

Prosperity(豊かさ)

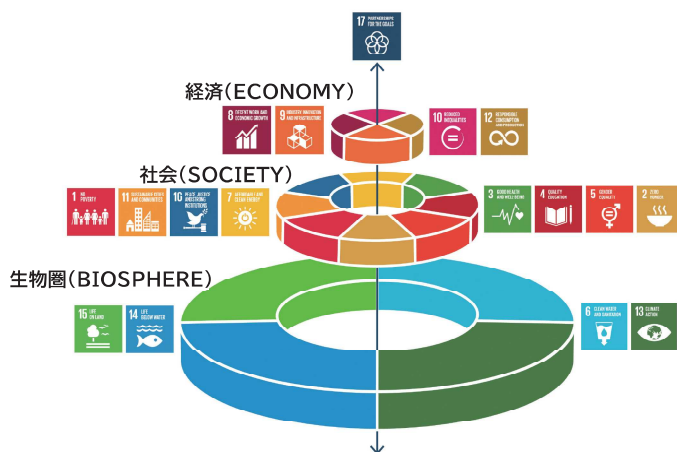
Planet(地球)

Peace(平和)

Partnership(パートナーシップ)は、「持続可能な開発」という考え方の中で強調されてきたことで、SDGsのすべての目標に反映されています。



出典:国際連合広報センターより



出典:ストックホルムレジリエンスセンターより

SDGsウェディングケーキ

SDGsの17の目標は、下から「環境」「社会」「経済」の3分野に積み重なってできています。「持続可能な開発」のためには、3分野の調和が求められています。目標17「パートナーシップ」は、3分野をつなげる役割を果たし、様々な人の協力が不可欠なことを示しています。



身近なところで できることからみんなではじめよう



目標 1 : 貧困をなくそう

・まだ食べられる食品が余ったら、フードバンクに寄付しよう



目標 2 : 飢餓をゼロに

・地元の食材を買おう。雇用も守られるし、移動にかかるエネルギーも抑えられる



目標 3 : すべての人に健康と福祉を

・運動や規則正しい生活で、病気を未然に防ごう



目標 4 : 質の高い教育をみんなに

・ニュースを見て、関心のある社会問題を調べてみよう



目標 5 : ジェンダー平等を実現しよう

・家族みんなで家事を平等に分担しよう



目標 6 : 安全な水とトイレを世界中に

・水の節約のため、洗濯や皿洗いをまとめて行おう



目標 7 : エネルギーをみんなに そしてクリーンに

・電気の節約のため、使っていない家電はコンセントを抜こう



目標 8 : 働きがいも 経済成長も

・すべての人が働きがいのある仕事につけるよう、環境改善に取り組もう



目標 9 : 産業と技術革新の基盤をつくろう

・道路の異常がわかったら報告しよう



目標10 : 人や国の不平等をなくそう

・助けが必要な人を見かけたら、積極的にサポートしよう



目標11 : 住み続けられるまちづくりを

・地域の活動に、積極的に参加してみよう。やりがいも地域の課題もわかるはず



目標12 : つくる責任 つかう責任

・リサイクル・リユース(再使用)・リデュース(ごみ減量)に貢献しよう



目標13 : 気候変動に具体的な対策を

・ハザードマップと一緒に避難場所を確認し、日ごろから災害に備えよう



目標14 : 海の豊かさを守ろう

・マイバッグやマイボトルを持ち歩いて、プラスチックごみを減らそう



目標15 : 陸の豊かさも守ろう

・森林保全に貢献する商品を買ったり、植物や生き物に関心を持とう



目標16 : 平和と公正をすべての人に

・日ごろから見守りや声かけを行うなど、子どもの安全に取り組もう



目標17 : パートナリシップで目標を達成しよう

・市民・事業者・行政など、すべての人が協力しながら行動を起こそう

どうして富士宮市でSDGs？

富士宮市でも**少子高齢化**が進み、年々人口が減少しています。

■人口減少がもたらす課題

- ✓ 人手不足・後継者不足
- ✓ 地域経済の衰退
- ✓ 空き家・空地、耕作放棄地の増加
- ✓ 税収減による行政サービスや公共建築物の維持更新の負担大

“SDGs”の視点を取り入れたまちづくり



第5次富士宮市総合計画(2016-2025)の将来都市像【10年後の目標】
「富士山の恵みを活かした 元気に輝く国際文化都市」

- ① 地域資源である豊かな自然を守りながら、その魅力を最大限活用し、みんなが住みよい「持続可能なまち」を目指すこと
- ② 地球全体のことを考えて行動すること



富士宮市では、誰にとっても住みよいまちを目指して、
「**富士山SDGs**」に取り組んでいます



富士宮市が取り組む “富士山SDGs”

様々な施策でSDGsを推進

富士宮市では、令和元年度をSDGs元年と位置付け、これまで市民への普及啓発や地域の課題解決に向けた様々な取組を進めてきました。

市の最上位計画「第5次富士宮市総合計画後期基本計画」では、基本目標ごとにSDGsに関わる取組を取り入れるとともに、市が総力を挙げてSDGsの達成に向かうこととしています。

SDGs未来都市に選定されています

富士宮市が提案した「富士山を守り未来につなぐ富士山SDGs」が、令和3年度に国の「SDGs未来都市」として選定されました。これは、国がSDGsの達成に向けて優れた取組を行う自治体を選定するものです。

この選定を受け、富士宮市では将来ビジョンやSDGs未来都市計画を策定しました。

これからもわがくにの共有財産である富士山を守るため、地域資源の保全・活用とSDGsの達成に取り組む人材が集まる「住んでよし、訪れてよし」のまちづくり、富士山の豊かな自然と様々な産業、文化の調和を目指し、次代につなぐ「富士山SDGs」の取組を推進します。



富士山SDGsロゴマークのコンセプト

- 富士山からの恵みのひとつである「水」をSDGs17色の水滴で表しています。
- 富士山を丸く囲ったデザインは、富士山のふもとでさまざまなヒトやモノがつながり、輪となって持続可能なまちづくりに歩んでいくことを表しています。
- 富士山がもたらす様々な恵みを守り、未来へつないでいくという想いを込めています。

富士山を守り未来につなぐ富士山SDGs

《富士宮市におけるSDGsに該当する取組の紹介》

2 飢餓をゼロに



自然の恵みを活かして、食料の生産を支援し、安全なものを提供します

富士宮産の牛乳を子どもたちに



富士宮市の生乳生産量は、県内の約半分を占めています。

「子どもたちに富士宮産100%の牛乳を飲んでもらう」と、市内の酪農家が集まり、平成28年に(株)富士の国乳業を設立しました。

富士宮市・富士市の小中学校では、平成30年度から(株)富士の国乳業の牛乳を学校給食で提供しています。

4 質の高い教育をみんなに



子どもも大人も平等に、いつでも質の高い教育を受け、学ぶことができる場所や機会を整える

子どもたちの「知りたい」「学びたい」を大切に



富士山学習

市内の中学校では、地域の環境や福祉、歴史などを学び、疑問に感じたり、関心を持ったことをさらに追求する富士山学習で、富士山や地域の「人・モノ・コト」に関わりながら、「知りたい」「学びたい」を大切に学習に取り組んでいます。

3 すべての人に健康と福祉を



全ての世代の人が健康で幸せな生活を続けられるように助け合う

認知症への理解を広める



認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために、幅広い世代に向けて、認知症への理解を深め、一緒に考える機会を作っています。

認知症の人や家族が集う認知症カフェや、認知症の正しい知識を学ぶ認知症サポーター養成講座を開催するなど、支え合いや見守りの輪が広がっています。

5 ジェンダー平等を実現しよう



女性や子どもなどの人権を守る取り組みのほか、女性が、社会で活躍する機会を増やしたり、性別に関わりなく、平等な社会をつくる

ハハラッチ



ハハラッチ事業では、子育て中のお母さんが記者(ライター)となり、お母さん目線で取材したイベントや観光スポット、グルメなどのお出かけや子育てに役立つ情報を発信しています。

富士山を守り未来につなぐ富士山SDGs

《富士宮市におけるSDGsに該当する取組の紹介》



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

環境への負担が少ない
持続可能なエネルギーの
利用を推進します

身近な再生可能エネルギー



上野小学校の太陽光発電設備

地球温暖化を防ぐため、CO₂削減に向けた取組として、公共施設への太陽光発電設備の設置や、住宅・事業所への創エネ・蓄エネ機器の設置を補助しています。



10 人や国の不平等をなくそう

世界には、生まれた国や人種、性別、障がい、言葉などによる差別があります。不平等をなくすためには、全ての人が平等に機会を持てるようにすることが大切です

全ての人が情報を受け止めるために



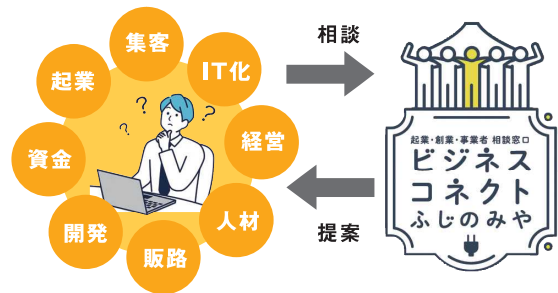
- 1 音声読み上げ
閲覧しているページを読み上げます。
- 2 外国語翻訳
英語やポルトガル語など6か国語に翻訳します。
- 3 やさしい日本語への言い換え
漢字に読み仮名が振られ、分かりやすく言い換えます。



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

地域の経済を活性化させるために、地域の企業や新しい産業、新しい技術を創り出すことを支援する

ビジネスコネクトふじのみや



市や富士宮商工会議所、芝川商工会、富士宮信用金庫が連携し、総合相談窓口を設置し、地元の企業や、創業を考えている人を支援しています。

起業の方法や経営、販路開拓などの事業者の悩みに、訪問やメールなど、さまざまな方法で相談に応じしています。



11 住み続けられる
まちづくりを

世界の文化遺産や自然遺産を保護していくための努力を強化する

白糸ノ滝周辺の環境整備



構成資産「白糸ノ滝」では、点在していた売店を市有地へ集約し、富士山の美しい姿と芝川の清流が一望できる芝生広場も整備しました。

また、売店跡地を含めた滝周辺の環境を自然の姿に戻し、保全するための取組を行っています。



富士山SDGs推進パートナー

身近なことからSDGs宣言しませんか？


富士宮市とともに、持続可能なまちづくりやSDGsの達成に向けて、異業種との連携や交流を通じて新たな提案や事業化に結び付けていきます。

- ・対象: 市内事業者・団体・学校
- ・費用: 無料

①広める
SDGsの取組を対外的にPRできます

②つながる
市や他のパートナーと交流・連携ができます


③学ぶ
SDGsの研修・セミナーに参加できます



【事例】
トイレトペーパーでつながるSDGs

市内で回収された雑がみを原料につくったトイレトペーパーを、市内の障害者福祉サービス事業者の利用者が丁寧に包み、富士宮市をPRする「ふるさと納税」の返礼品として届けています。

環境にも人にもやさしい「富士山SDGs」の取組の一例です。



※本制度は、富士宮信用金庫・富士宮商工会議所・芝川商工会・東京海上日動火災保険㈱の包括連携協定のもと、実施しています。

パートナー(事業者・団体・学校)の取組を紹介をします



【ウイズアイ・エージェント】

持続可能な事業活動を通じて生涯お客様・従業員を守ります。ペーパーレス手続きの推進で地球環境にも配慮します

お客様の条件にあった保険の販売、適切な保険金請求のサポートを行っています。

病気や災害など、もしもの出来事で生活に困らないように、家族、事業者に経済面での安心・安定を届けています。その際に、お客様（個人・法人）と共にリスクを想像し、ニーズを洗い出したりうえで、必要な保障を必要な分だけ一緒に考えて用意する

ことで、SDGsの目標1「貧困をなくそう」の達成を目指しています。

また、SDGsの目標15「陸の豊かさを守る」ため、デジタル化の時流に合わせて紙資源の利用を減少させています。保険契約の従前からのやり方である「紙での手続き」を極力減らし、「ペーパーレス手続き」率アップを図っています。



店舗内のSDGs展示コーナー



ペーパーレス手続きの様子

住所: 富士宮市大宮町2-5
創業年: 2011年
従業員数: 4名



パートナー(事業者・団体・学校)の取組を紹介をします



【潤井川リバーフレンド】

富士山の恵みの清流や景観を大切に、定期的に河川のごみ拾いや河川敷の草花を管理し、子どもたちの自然観察などの補助活動を行う

わたしたちは、日頃の河川愛護活動を通して、水や川、そして海の大切さを発信しています。

具体的には、潤井川中流域での環境保全の取組や現状の発信を通して啓発の一環を担い、SDGsの目標14「海洋資源」の達成に向けて取り組んでいます。

地域河川や河川敷の景観を守るため、定期的なごみ拾いや草刈りと草花の植栽や

手入れを行うことで、SDGsの目標11「持続可能な都市」に貢献しています。

子どもが河川敷で草花や魚、昆虫に触れることで、自然のすばらしさを体感できます。時にはごみ拾いを通して、プラスチックごみが地球環境と生体に悪い影響を及ぼすことを知ってもらうこともできます。これらは、SDGsの目標4「教育」にもつながります。



プラスチックごみは海洋汚染の原因に



潤井川河川敷にある小さなビオトープ

住所：富士宮市黒田
 創立年：2011年
 会員数：24名



【大宮小学校】

大宮小学区SDGsプロジェクト
 ～校内から学区へ商店街・地域の方々と一緒にSDGs～

大宮小学校は、「自ら学び、共に生きる子」の学校教育目標のもと、自ら問いを持ち、解決のために進んで調べたり学んだりする子ども、多様な他者と協力し課題解決にあたる子供の育成を目指し日々教育活動を展開しています。

6年生が校内にSDGsの視点を取り入れた活動を進め、富士山学習「岳麓洞」の学習で、学んだことを伝えたり、様々な他者と意見交換した

りして学びを深めました(目標4)。

また、各委員会で学校生活をよりよくする工夫を考えました(目標16)。さらに、地域の商店街の方等に作成したSDGsのパフレットを配布すると共に、十六市でのバザー参加を通じて、誰もが幸せに暮らせる大宮学区にするための活動をしています(目標17)。



商店街の方にSDGsの意識調査を行う



SDGsの目標と関連させ、取り組むことを提示

住所：富士宮市元城町2-1
 創立年：148年
 児童数：438名 教職員数：53名



パートナー(事業者・団体・学校)の取組を紹介をします



【大宮精機株式会社】

SDGsの掲げる目標を企業活動の行動規範に取り組み、社会に貢献する

わたしたちは、産業用の機械（電線や医療用チューブなどの製造装置）のメーカーです。

SDGsに掲げる17の目標の多くに取り組んでいます。メーカーとしての特徴的な取組は、SDGsの目標9「産業と技術革新の基盤を作ろう」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標7の「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に注力することです。

イノベーションによる社会課題の解決、働きがいのある職場・安定した雇用・企業の発展などを目指します。SDGsに取り組みながら、「三方よし」（自分よし・相手よし・世間よし）や「働き方改革」など、諸課題の解決を目指していきます。



太陽光パネルを設置した会社の光景



電線をおおいつつむ装置

住所：富士宮市万野原新田3718-1
創業年：1939年
従業員数：75名



【静岡県労働金庫富士宮支店】

全ての人々が、必要で安心な金融サービスにアクセスできる「金融包摂」の考えを通じ、誰ひとり取り残されない社会の実現を目指します

わたしたちは、はたらく仲間のための金融機関として、常にお勤めの方のくらしに役立つ商品・サービスの提供を続けてきました。現在は、「静岡ろうきんSDGs実践方針」に則り、「子育て応援ローン」や「福祉ローン」の提供、職員の認知症サポーター講座の受講、災害時に店舗駐車場をボランティアに提供する取組、

地域NPOの支援などに取り組んでいます。

富士宮支店では、富士宮市と連携した、住宅資金利子補給制度や教育資金貸付制度を広くPRし、総枠の100%利用につなげ、はたらく皆さまの生活向上に役立っているほか、学生向け高校等での金融教育の支援をしています。



各種商品・サービスのパンフレット



高校での金融教育の様子

住所：富士宮市弓沢町109-1
支店開設年：1979年
(静岡県労働金庫設立1953年)
従業員数15名



パートナー(事業者・団体・学校)の取組を紹介をします



【オブリック株式会社】

- ・エネルギーと資源を無駄にしない
- ・豊かな街と暮らしに貢献する
- ・地域の経済と産業を支える災害・復興に強いまちづくり

地球温暖化防止に貢献するため、「カーボンニュートラルLPガス」を推進しています。これは、LPガスの調達から消費までの過程で発生するCO₂の量を算出し、同等のCO₂クレジットを用いて相殺することで二酸化炭素排出量をゼロとみなすことができます。市内の保育園にも導入します。

従来のものと比べ、CO₂

排出量を約15%削減できる高効率ガス給湯器の推進も、SDGsの目標7「エネルギー」目標11「持続可能な都市」目標13「気候変動」の達成に貢献する取組です。また、アーク溶接などに利用する際にアセチレンに比べ、CO₂を約84%削減できる hidroカットや、CO₂を削減するLED誘導灯の推進によって目標13「気候変動対策」にも取り組んでいます。



▲カーボンニュートラルLPガスチラシ

住所: 富士宮市田中町543
創業年: 1944年
従業員数: 49名



【富士山エナジー株式会社】

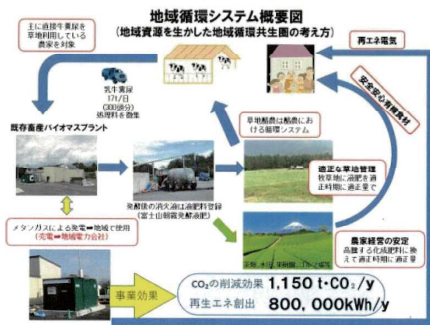
「地産地消」のエネルギーの確保・普及に努め、環境に優しいエネルギーの提供を推し進めることで、脱炭素化社会の構築に貢献していく

SDGsの目標13「気候変動」対策のため、エネルギー産業も温室効果ガス削減に向けて企業活動を行っています。

新電力会社として安全・安心なエネルギー(電気)の普及のため、PPA事業(※)を進め、親会社のオブリック㈱と連携を図り、エネルギー分野における脱炭素化を図っています。

(※) 発電事業者が太陽光発電設備を設置し、発電された電気を建物所有者が使用して余剰電力を設置事業者が買い取るシステムのこと。

また、バイオマス発電事業者と協力して、市内北部地区の酪農家から収集した牛ふんを活用した再生可能エネルギーの創出及び提供に努めています。さらに、地元の茶園農家の方と協働して、営農型ソーラーシェアリングの創出を図り、農業振興と安心安全なエネルギーの創出に努めています。



▲牛ふんを活用したバイオマス発電

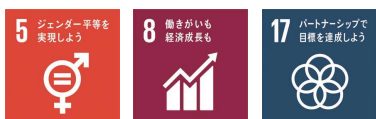


農業とソーラー発電を同時に可能にする 営農型ソーラーシェアリング

住所: 富士宮市田中町543
創業年: 2018年
従業員数: 5名



パートナー(事業者・団体・学校)の取組を紹介をします



【株式会社日誠電工】

電気設備工事を通じて、社員の事情に合わせた合理的なワークシェアリングを実現し、エンパワーメント経営を達成します

わたしたちは、電気設備施工管理のワークシェアリングを実現し、労使双方にメリットある雇用形態を取り入れることで、課題である人材不足の解決につなげるとともに、女性や全てのジェンダーのエンパワーメント(※1)を高め、ジェンダー平等の達成を目指しています。

具体的な取組として、①技術部施工管理課)の女性比率を

15%から25%に引き上げ(目標5)、②在宅ワークの導入(目標8)、③ワークシェアリングの実施状況をステークホルダー(利害関係者)と共有し展開する。また、月1回、現場安全会議での水平展開(※2)を行う。(目標17)

これらを継続的に取り組み、持続可能な多様性と包摂性のある社会の実現に向けて邁進してまいります。



女性の現場監督も活躍しています

住所:富士宮市小泉2252-11
創業年:1970年
従業員数:23名



(※1)自律性の促進、能力開花、(※2)今持っている知識や技術・ノウハウなどを、これまでとは違う場所で活用すること



【JAふじ伊豆富士宮地区本部】

安心安全な「食と農」の追求、持続可能な農業、豊かな地域社会の実現に貢献します

わたしたちは、営農販売、金融、共済など幅広い総合事業を通じて、地域の農業振興と社会づくりのためのサービス提供に取り組んでいます。

ファーマーズマーケット「う宮〜な」では地域の農畜産物を販売し、地産地消の推進・フードマイレージ削減によって、安定的に地元産・国産を供給しています。あわせてマイバック持参の推進、パイ

オマスレジ袋の活用で海・陸の豊かさを守る対策に取り組んでいます。営農経済センターでは月に1回、肥料袋などの農業用廃プラスチック回収日を設け、資源として適正な回収を行っています。

今後もスマート農業の導入や地元堆肥の有効活用などで農業経営の革新を図り、農業所得増大につながる持続可能な農業を目指します。



機械導入で農業経営の効率化へ



地産地消を届ける「う宮〜な」

住所:富士宮市外神東町117
創業年:1993年(存続JAより継承)
従業員数:2722名(JAふじ伊豆全体)



パートナー(事業者・団体・学校)の取組を紹介をします



【富士急静岡バス株式会社】

公共交通の利用を促進することによって
環境負荷を軽減させSDGsに貢献します

わたしたちは、富士南麓エリアを営業基盤とするバス会社として、公共交通の充実を図り、富士山の自然環境の保全と地域社会の発展に寄与してまいります。

具体的には、宮バスをはじめ路線バスの利便性を高め、お子様からお年寄りまで、また障がいをお持ちの方にとっても住み続けやすい街づくりに貢献します。

また、夏の富士山スカイラインのマイカー規制時にはシャトルバスを運行するとともに、今後は電気バス(EVバス)など環境にやさしい車両を導入することでクリーンで快適な環境の維持保全に努めてまいります。



夏のマイカー規制時に活躍する「ハイブリッド車両」



市民の足「宮バス」

住所:富士宮市ひばりが丘307-12
創業年:1993年
従業員数:71名



【富士宮高校会議所】

高校生の視点で主体的にSDGs実践ボランティア活動を行い、持続可能な社会づくり活動を通して富士宮を活性化、元気にする活動を行う

わたしたちは、高校生の主体的なボランティア活動により、富士宮市の持続可能な社会づくりに貢献し、地域のリーダーとなる人材を輩出することを目的にしています。

ニジマスの残さや朝霧牛の牛糞を使った堆肥を市内事業者の協力を得て完成させました。日本初の川魚を活用した堆肥で、リン・カリウム・アミノ酸の含有量が多いのが特徴です。新たな特

産品の創出につなげ、耕作放棄地への有効活用等にも貢献します(目標2・12)。

(SDGsパートナーBook監修 佐藤真久 宣伝会議に掲載)

また、ベビーカーやチャイルドシートの2R リサイクル・リユースを通じて、持続可能な社会づくりを目指しています(目標12)。地域寄合処等でのアート(音楽・絵画)活動を通して、老若男女の健康福祉、元気にする活動を行っています(目標3)。



富士宮高校会議所プレゼンツSDGsコンテスト等表彰式



マスマス元肥(げんぴ)を使って、耕作放棄地をよみがえらせよう

住所:富士宮市西町16-18
創立年:2016年
会員数:23名



パートナー(事業者・団体・学校)の取組を紹介をします



【株式会社富士山(道の駅朝霧高原)】

世界文化遺産「富士山」の自然環境を守るため、来駅者が出すゴミや節水及び消費電力の削減に取り組めます

わたしたちは、富士山と共に発展・繁栄していく「道の駅」として、また、富士山の素晴らしい自然環境や歴史経緯を世界に発信する場所として、地域に貢献できる存在を目指しています。

具体的には、世界に誇る文化遺産「富士山」を守るため、草刈り・ごみ拾いの徹底や節水活動により資源を守ることを心がけています。また、75歳以上の上の高齢者・障害者の方も働か

いを持って仕事ができるよう、それぞれが役割を担い、責任感を持って作業することで、仕事に対するやりがいと達成感を感じてもらえるように取り組んでいます。さらに、レジ袋やプラスチック材容器の使用量が削減できるように、従業員一人ひとりがその達成意識を持って日々の仕事に取り組んでいます。



店舗周辺で清掃活動



▲店舗で配付するバイオマスレジ袋

住所: 富士宮市根原字宝山492-14
 創立年: 2000年
 会員数: 32名



【富士宮市勤労者共済会(ハピネスふじやま)】

市内で働く人を取り巻く様々な社会的課題の解決に取り組み、生活の向上、心のサービスをし「ハタラクシアワセ」を実現します

設立25周年となる富士宮市勤労者共済会(ハピネスふじやま)は、富士宮市内の中小企業に勤務する勤労者とその家族、事業主に対し、総合的な福利厚生事業を行い、生活の向上および中小企業の振興並びに市内地域社会の発展に寄与するこ

とを目的に事業を実施しています。

多様な働き方に対応した福利厚生、ワークライフバランスの実現、安全に健康的に働ける職場環境整備などをサポートし、SDGsの達成を目指します。



富士宮市勤労者共済会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



▲ハピネスふじやま×SDGs



住所: 富士宮市弓沢町150
 (富士宮市役所内)
 創立年: 1998年
 会員数: 1,750名



パートナー(事業者・団体・学校)の取組を紹介をします



【株式会社マクルウ】

マグネシウムの新たな世界を独自の技術で切り拓き、そのメリットを様々な用途へ拡大させることで、SDGsの目標達成に貢献します

わたしたちは、最軽量金属であるマグネシウムの加工技術を開発し、マグネシウムのメリットを様々な用途へ拡大させています。例えば、輸送機器の軽量化によるCO₂排出量削減、家具や福祉介護機器の軽量化による身体負担の軽減、ドローンや電動モビリティの実用化による新産業の創出、生体分解性(※)を活用した医療機器の高度化、マグネシウム

電池や植物発電の実用化などに取り組んでいます。こうした活動を通じて、マグネシウム製造・加工の中核となり、マグネシウムの新たな可能性を拓くことで、地球環境への配慮、高齢社会における生活の質の向上、新産業の創出、患者への負担を減らした医療、新エネルギーの開発、地域経済への貢献を目指しています。

※生体内(人間の血管内など)で分解吸収される性質のこと。



住所:富士宮市山本286-1
創業年:2010年
従業員数:7名



【有限会社宮崎蒲団店】

- ・寝具の地産地消を目指し、永くりサイクルして使える商品製造・販売を行う
- ・専門店にしかできないメンテナンス体制を自社に作る

綿や羽毛は大切な資源です。当社では側が傷んだ羽毛ふとんや綿ふとんを処分するのではなく、自社の工房で、中身のダウンを取り出し洗浄して、また新しい羽毛ふとんに吹き込む羽毛リフォームに取り組んでいます。今使用している羽毛ふとんを少しでも長く使えるように自社のクリーンルームでメンテナンスにも力を入れ、SDGsの目標12「生産と消費」の達成に取り組んでいます。また、最新の非接触測定器を使用して、一人一人にあった枕やマットレスの提案によって、SDGsの目標3「保健」の達成に取り組んでいます。当社は創業148年の企業ですが、これからも地元の方の健康に貢献できるようにSDGsの活動に取り組んでいきます。寝具の地産地消を目指します。



▲宮崎ふとん店のSDGsへの取組紹介

住所:富士宮市宮町12-22
創業148年
従業員数:5名





2022年「SDGsポスターコンクール」最優秀賞



小学生部門最優秀賞
富士根南小学校5年
鈴木心美さん



中学生部門最優秀賞
大富士中学校3年
芦川都さん



富士山を守り、未来につなぐ。

富士山SDGs

SDGs
未来都市
富士宮市

[発行]富士宮市企画戦略課企画調整係

〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150

☎0544-22-1113 ✉kikaku@city.fujinomiya.lg.jp